

「新型コロナウイルス感染症」に関する

六角橋教会の対応について

いわば「様子見」が続いてきた政府でしたが、先週になって立て続けに（根拠のよくわからないまま）警戒レベルを上げてきました。週末には、教団および教区からも「注意喚起」が通知されてきました。

そこで、六角橋教会としては、次のように対応することになりました。

① 礼拝および祈禱会——通常どおりです。但し、決して無理に出席することのないように、各自で判断ください。また、出席される方は、入り口で手指をアルコール消毒し、マスクを着用してください。

② 諸集会——2週間は原則として休会（平和カフェ、シャローム例会）。それ以降は様子を見ながら判断。開催する場合は、少人数に限定し、場所および時間など、安心して参加できるように、出席者ともよく相談して判断します。

③ 委員会など——今日の役員会は、出席できる人で開催し、会計一次案など、役員会承認事項を中心に

協議します。なお、その他の委員会や打ち合わせが必要な場合も、「濃厚接触のリスク時間」とされる30分を越えないようにしてください。

④ 諸奉仕——不要不急の外出以外は控えていただきたいので、奉仕も、できる人の手で、できる範囲でおこないます。そのために、至らないこともあるかもしれませんが、どうぞご容赦ください。

ここ数週間は、不安が募る状態になるかもしれません。そんな時だからこそ、私たちは「祈り合う群れ」として強められるのです。互いを支え合う祈りを、それぞれの場で、これまで以上に篤くしてすごしましょう。

3月12日(木)にWHOが「パンデミック」(世界的大流行)を宣言し、19日(木)には政府が4回目の「国民の皆さまへのメッセージ」を発表。警戒が必要な状況が続くなか、各教会は、それぞれが苦慮しながら対応を続けています(参考になる情報を掲示板に貼りだしてありますので、どうぞ「ご覧ください」)。

六角橋教会としては、引き続き礼拝と祈祷会はいつもとどおりに、その他の集会が必要であれば、それぞれ衛生と健康に充分留意しながら開催します。4月12日(日)の復活日礼拝と教会総会も、予定どおりおこなう方向ですが、時間短縮や議事運営など、状況に応じた対応を、前週の役員会で協議します。

不安が増す日々ですが、何よりも大切なのは、それぞれの健康です。そして畏れるべきものを畏れる「正しいオソレ」を胸に、お互いのために祈り合う群れとして強められるときをしまししょう。

◆ 新型コロナウイルス感染症への対応(三つ) ③

* 教会定期総会は、復活日礼拝(12日)の後に予定していましたが、1週間後の19日(日)に延期。昼食抜きで、1時間以内の審議を目指します。

* 総会の成立要件(議員出席66名が満たされない場合は、成立要件に「委任状」を含めます。委任状は5日から配布・受付。

* 役員本選挙「期日前投票」を、5日と12日に実施

※ 3月19日の安倍首相「国民の皆さまへのお願い」に引き続き、3月26日には首都圏の知事らによる「週末の外出自粛要請」が出され、引き続き「警戒が必要」な状態が続いています。

そこで六角橋教会も、衛生・健康に気を付けつつ、礼拝と祈祷会を開催、他の集まりは必要最低限のものに限定…という基本姿勢を継続しますが、もし「非常事態宣言」が発令された場合には、「礼拝は教職を中心とし、教会員は礼拝出席を控えてください」と、教会連絡網第二弾でお伝えします。

※ 他教会が幅広く利用し始めている「PC・スマートホンの動画アプリ」での「礼拝ライブ配信」については現在研究中です。